

21世紀 COE プログラム (人文科学)「言語・認知総合科学戦略的研究教育拠点」開所式

去る3月14日(金)、仙台国際ホテルにおいて標記開所式が、早稲田東北大学副総長、増本健東北大学名誉教授、粕谷英樹宇都宮大学副学長、井出祥子日本女子大学教授、東京大学、北海道大学、金沢大学、埼玉大学、愛知教育大学、東北学院大学、尚絅学院大学の関係教官、本学の関係部局長、及び本学関係部局の大学院生など、合わせて約80名が出席して開催されました

文部科学省21世紀 COE プログラムは、我が国の大学に世界最高水準の研究教育拠点を学問分野ごとに形成し、研究水準の向上と世界をリードする創造的な人材育成を図るために重点的な支援を行うことを目的とした事業です。

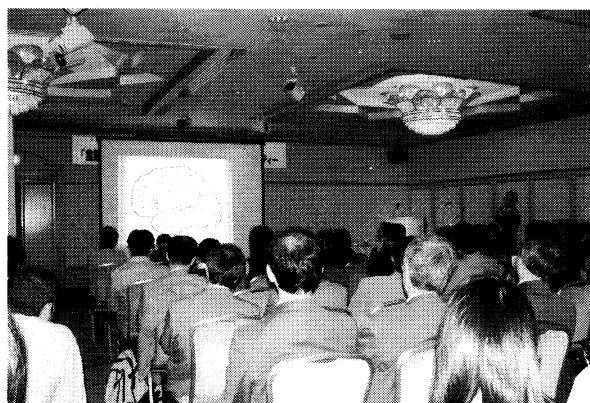
「言語・認知総合科学戦略的研究教育拠点」プログラムは、平成14年度に本学で唯一、人文科学分野の領域で採択され、国際文化研究科国際文化交流論専攻の堀江薫教授が研究リーダーとなり、同研究科国際文化言語論専攻の佐藤滋教授及び未来科学技術共同研究センターの川島隆太教授を研

究総括分担者として、情報科学研究科人間社会情報科学専攻、工学研究科電気・通信工学専攻、医学部附属病院高次機能障害リハビリテーション科、及び文学研究科言語科学専攻の教官で組織され、言語学を中核にして、脳科学、心理学、情報工学など言語科学関連分野を包含した研究者集団による広範な学際的拠点を形成し、ヒト脳特有の言語の仕組みの理解、すなわち人間対人間のコミュニケーションにおける言語の獲得・運用・喪失過程の解明、及びその人間対機械の対話への応用を目的とした新しい研究領域の創成を目指すものであります。

開所式は、竹中国際文化研究科長の挨拶、来賓の井出日本女子大学教授の挨拶に続いて、早稲田副総長から「本学の COE プログラム」紹介と本プログラムへの期待の挨拶があり、堀江研究総括責任者から「本拠点の趣旨」について紹介の後、山鳥重医学系研究科教授による「ことばを創る脳」と題する記念講演が行われました。



(堀江教授・研究総括責任者による説明)



(山鳥教授の記念講演)